

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第133445号
起案日	平成13年11月20日
特許庁審査官	江成 克己 7907 2P00
特許出願人代理人	木村 勝彦 (外 1名) 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号に規定する要件を満たしていない。

## 記

蓋体の上面をフィルムで機密状態に覆うことが記載されていない。もしそうでないと溝は大気に解放されているのだから溝を設けてもインクの蒸発を防ぐことができない。

通孔部がどこにつながっている孔であるのか不明である。

脱気用凹部が負圧状態で蓋体がフィルムで密閉されることにより負圧を蓄えておくものである点が記載されていない。脱気と言うだけではインクをカートリッジに充填する際にカートリッジ内を負圧にひくためのもの（1方向弁など）とも考えられる。

大気連通口が直接大気とカートリッジ内を連通するものなのか溝、通孔部を介して連通するものなのか不明である。

よって、請求項1、2、5、6、10、11、12、13、14、16、に係る発明は、発明の詳細な説明に記載したものではない。

2. この出願の請求項1～19に係る発明は、その出願前日本国内において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

## 記

特開平8-224894号公報（カートリッジ内を大気に連通させる通路中に溝を設け  
流れの抵抗を増す点）

-----  
先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野     IPC第7版 B41J2/175
- ・先行技術文献     特開平9-240002号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。